

2023（令和5）年度 事業報告書

社会福祉法人山鳩会
ひなたの道 B型事業所

1. 理念・方針

（1）法人理念

① 障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

② 障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③ 援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④ 地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、お互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）基本方針

① 高齢や多様な障害の方のニーズに基づいたサービスの提供を行うために、決まった「働き方」の枠に当てはめるのではなく、個々の年齢・特性に応じたメニュー提供をする。

→理学療法士に相談し、身体機能の低下が顕著な方にPTプログラムに基づく運動の場面を提供した。日常生活に大きな支障のない方にも予防的な運動の機会を提供した。

② 多機能型の特性を活かした運営として、B型、生活介護共に、相互のプログラムの利用を促進し、生活介護の職員補助をB型の利用者が担うなど、多様な場面の提供をする。

→利用者の状況に合わせ、生活介護のメニューを利用した。B型の作業に生活介護の利用者に参加して頂いた。生活介護の職員補助をB型の利用者の役割として取り組んで頂いた。

③ 個々の適性や願望に合った就労場面の提供をするため、室内・室外ともに複数の作業種を提供できる状態を維持する。

→個別に要望を聞き、年齢・障害特性に合わせた作業配置をし、本人の意欲を引き出した。

④ 地域の方と円滑な関係を築くため、地域清掃などの日常的な取り組みを行うと共に、定期的に交流促進につながる行事を開催する。

→地域清掃は日常的に取り組み、夏祭りや施設祭で施設を地域に開放し、地域との交流や理解促進に繋がった。

（3）中期目標（令和4年度～令和6年度）

① 高齢の方を中心に、余暇活動などの就労場面以外の活動も日常的に自己選択できるよう日課の再構築をする。

→余暇活動では自己選択した活動に参加し、経験・楽しみに繋がっていた。月に1回、全員参加でのレクリエーションの時間を設けた。

② 利用者個々の特性に応じたコミュニケーション手段を確立する。

→個別のコミュニケーションにより、ニーズ充足に結び付いた方もいたが、障害特性や年齢

に合わせた手段を次年度以降も検討する。

- ③ 個々の利用者への支援の適正化のために、アセスメントの活用方法や日常的な記録などの書式の見直しをする。職員間で目的・支援方針の共有・統一を徹底できる仕組みを構築する。
→日常的に把握した利用者の情報を定期的に更新し、追加した。支援方針の共有・徹底は次年度も検討する。
- ④ 従来の作業種にて個々の利用者が力を発揮できる場面を残しつつ、新たな体験・やりがい、働き続ける事の意欲につながるよう、新規作業の開拓や受注作業・自主製品の活動の拡充を目指す。
→自主製品の販路は昨年度より拡大できた。次年度以降も継続して新規作業種の開拓をし、利用者の作業の選択の幅を増やせるようにする。
- ⑤ 高齢の方や重度知的障害の方、身体障害のある方が安全に利用でき、円滑に活動へ参加できる環境の整備のため、施設内の環境を見直し、日常的に適切な状態を維持する。
→車椅子でも通りづらくならないように見直しを行った。日常的に施設内の整備に努め作業の部材で通路をふさがないようにする。

2. 施設概要

- (1) 施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）
- (2) 利用定員 40名（現利用者数37名）
- (3) 開所年月 平成28年10月1日
- (4) 施設規模 敷地面積 982.38㎡
延床面積 996.24㎡
建物構造 鉄筋コンクリート造（地上3階建て）
賃貸区分（土地）賃借（建物）法人所有

3. 職員構成

- (1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名（兼任）
サービス管理責任者	1名（兼務）
支援員（常勤職員）	5名
保育士（常勤職員）	0名
調理員（常勤職員）	0名
事務員（常勤職員）	1名（本部兼務）
支援員（非常勤職員）	9名
保育士（非常勤職員）	0名
調理員（非常勤職員）	0名
看護師（非常勤職員）	0名
理学療法士（非常勤職員）	0名
作業療法士（非常勤職員）	0名
合 計	16名

(2) 嘱託

医師	(4回/年)	1名
看護師	(0回/年)	0名
理学療法士	(1回/2月)	1名
作業療法士	(0回/年)	0名
合計		2名

4. 利用者状況

(1) 障害程度

	1	2	3	4	A	未定	合計
愛の手帳	0名	11名	20名	5名	1名	0名	37名
身障手帳	5名	2名	0名	0名	0名	0名	7名
精神保健手帳	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名

※身障手帳、精神保健手帳と重複

(2) 年齢構成 (平均年齢 48.3歳)

	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	合計
男	0名	2名	8名	6名	5名	7名	28名
女	0名	2名	1名	0名	1名	5名	9名
合計	0名	4名	9名	6名	6名	12名	37名

最低年齢 男…22歳 女…21歳 最高年齢 男…76歳 女…74歳

平均年齢 男…46.9歳 女…52.6歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	練馬区	新宿区	国立市	所沢市	合計
33名	1名	1名	1名	1名	37名

(4) 障害支援区分

区分	1	2	3	4	5	6	未定	合計
人数	2名	2名	5名	10名	5名	0名	13名	37名

(5) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
退所者	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
月末数	38	38	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	446
延べ日数	836	874	814	851	851	814	851	814	851	851	777	851	10,035
延べ人数	734	737	710	737	721	681	745	693	726	637	678	751	8,550
出勤率(定員)	83.4	80.1	80.7	80.1	78.4	77.4	81.0	78.8	78.9	69.2	80.7	81.6	79.2
出勤率(現員)	87.8	84.3	87.2	86.6	84.7	83.7	87.5	85.1	85.3	74.9	87.3	88.2	85.2

5. 日課

(1) 月～金曜日

時間	内容
8:00～	送迎、登園
9:00～9:10	体操 ウォーキング
9:10～11:30	生産活動
11:30～12:30	昼食 昼休み
12:30～15:10	生産活動 係活動 余暇活動
15:10～15:20	清掃 終礼
15:30～	退園 送迎

(2) 土曜日

8:00～	送迎、登園
9:00～11:00	生産活動 余暇活動
11:00～	昼食 退園 送迎

6. 重点目標

(1) 健康・衛生

- ① 加齢による運動機能低下の防止、軽減や精神的な安定を図るため、嘱託医など専門家の指示に基づき、個々の状況に適したプログラムを提供する。
→理学療法士の相談を毎月行い、日常的に取り組んだ運動の評価もして頂いた。次年度以降も高齢者の怪我の予防に取り組んでいく。
- ② 健康診断、体重測定など定期的に行い、利用者の健康状況を把握し、家庭とデータ共有を図り、医療機関への情報提供など早期対応を図る。
→家庭と健診結果の共有をすると共に、利用者本人へ体重の増減の伝達など意識付けを行った。
- ③ 健康についての情報を家庭などに提供していく。
→献立表、施設便りにて情報を提供した。
- ④ 自分の歯でいつまでも食べられるよう、口腔衛生支援を行う。
→全体で歯磨き指導を行い、ブラッシングの仕方や口腔衛生の情報を利用者へ伝えた。自身で歯磨きを行うのが難しい方に対しは直接介助を行った。
- ⑤ 高齢化対策についての職員の知識の向上、情報収集の場面を増設する。
→次年度も研修に参加する等知識の向上を図り、怪我の予防に繋がる情報も収集していく。
- ⑥ 感染症対策の為日常的に利用者、職員の健康状態を把握し、衛生的な環境整備の徹底を図る。
→家庭で検温表を記入して頂き、施設内でも検温を行い、食後のテーブル拭き等を徹底し、感染症予防に努めた。

健康診断	白十字病院	4月19日
婦人科検診（子宮がん）	白十字病院	6月27日
インフルエンザ予防接種	白十字病院	11月20日
新型コロナワクチン予防接種	保健センター	6月6日、10月17日
歯科健診	ひなたの道（折笠 Dr）	2月15日

(2) 地域・家庭生活

① 生活を楽しむことを目的とし、身だしなみ、ファッションなどの情報を提供するとともに、消費活動など潤いのある生活に意識が向けられるようアドバイスや機会の提供を行う。

→個人へ担当から行ったが、次年度、生活の潤いの拡充を図るため積極的に取り入れていく。

② 社会生活を円滑に営むためのスキルを獲得し自分の生活に活かせるような場面提供を行う。

→グループ別外出等で公共交通機関の使用法や食事マナー等社会スキルの習得機会を提供した。

(3) 作業・就労活動

稼働作業種目

①事業所内活動

(単位：円)

	受注・納品先	作業内容	稼働日	参加者	令和4年度収入	令和5年度収入
受託事業	鈴木紙工・平成の里 プロメディア	シヨビソグパック制作 ダイレクトメール封入	週5日	全員	1,572,229	1,289,374
清掃事業	白十字ホーム さやま園他	水まき 除草	月数回 年20回	10名 10名	271,461	263,554
回収事業	三栄サービス	古紙等回収	週5日	15名	3,719,337	3,496,108
自主事業		芋けんぴ作成	適宜	3名	125,540	192,060
その他	ポストウェイ	ポスティング	不定期	10名	6,000	0
小計					5,694,567	5,241,096

②パート・アルバイト

(単位：円)

	受入先	作業内容	稼働日	参加者	令和5年度収入	令和4年度収入
パート	白十字ホーム	下膳	週5日	1名	309,461	449,074

工賃支払実績

(単位：円)

	総額	平均額	最高額	最低額	アルバイト
4月	519,732	14,046	26,422	0	41,048
5月	432,020	11,676	23,720	0	25,895
6月	284,150	7,679	15,440	0	25,620
賞与	414,620	11,205	12,760	0	0
7月	286,760	7,750	16,150	0	43,820
8月	358,280	9,683	18,950	0	25,616
9月	217,350	5,874	12,270	0	25,065
10月	264,150	7,139	14,150	0	25,616
11月	286,740	7,749	17,600	110	21,588
12月	343,190	9,275	20,570	0	31,446
賞与	331,260	8,952	10,270	0	0
1月	305,090	8,245	18,090	0	28,160
2月	225,430	6,092	14,250	0	15,587
3月	230,870	6,239	13,060	230	0
合計	4,499,642	121,604	233,702	340	309,461
平均	374,970	10,133	19,475	28	25,788

※パート・アルバイトについては、本人へ直接支給。

(4) 給食

① 利用者の健康状態に基づき、可能な限り個別の希望に応じた献立を提供する。

→毎週火曜日、選択メニューを提供した。月に1回、利用者からの意見を反映したリクエストメニューを提供した。

② 栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

熱量	蛋白質	炭水化物	脂肪	カルシウム	ビタミン		
					B1	B2	C
720Kcal	28 g	225 g	18 g	320m g	0.4m g	0.48m g	40m g

(5) 自治会活動

→月1回全体へ向けての周知とグループ単位での話し合いを実施した。

(6) 行事实績

①年間行事

月	内容	場所	目的	参加数
8月	夏祭り	ひなたの道	特別支援学校に向けた啓発の機会を設ける。	126名
10月	ひなたフェス	ひなたの道	地域の方を招き、交流や施設の理解を深める。	143名
11月	大運動会	八坂小	法人全体での交流と体力維持を図る。	49名
12月	クリスマス会	ひなたの道	利用者・職員の交流を図る。	47名
1月	成人の祝い	中央公民館	人生の節目を皆でお祝いする。	33名
3月	バスハイク	群馬方面	年度末に一年の労を労い、非日常を味わう。	53名

②グループ別外出

月	場所	内容	参加数
5月	東京ドームシティー	各種アトラクションの乗車。	6名
6月	羽田空港	飛行機の観察や国内各地のお土産の購入。	18名
7月	荒川遊園	アトラクションの乗車や動物との触れ合い。	6名
8月	マクセルアクアパーク品川	イルカショーの鑑賞や水棲動物の観察。	8名
9月	浅草・浅草寺	散策や見学、水上バスの乗車。	15名
10月	長瀬・宝登山	ロープウェイ乗車と動物との触れ合い。	19名
11月	奥多摩・つるつる温泉	温泉に入りゆっくり過ごす。	16名

(7) 余暇活動

活動種目	実施日	人数	活動内容
プール	第3火	9名	プールで個々にあった運動をし、体力維持・精神安定を図る。
運動	第1・第3水	12名	ウォーキングや軽体操をし、体力・身体機能の維持を図る。
カラオケ	第4水	8名	歌いたい曲を自分で選び歌うことでリフレッシュする。
ダンス	第1・第3金	9名	皆が好きそうな曲や出来そうなダンスをし、発表の場を設ける。
ボッチャ	第4金	10名	グループを作り、協力しながらゲームを楽しむ。
ボウリング	第1火	15名	ボウリングをして、体力維持・向上、精神安定を図る。
創作活動	第3金	3名	紙粘土細工の作成等工作を通して、精神安定を図る。

(8) 美化活動

- ① 利用者の転倒やケガにつながらないよう、日常的に安全な事業所の環境を提供する。
→環境に起因した施設内の転倒事故は見られなかったが、次年度も継続していく。
- ② 敷地内外の清掃、除草などを積極的に行い、衛生的な環境を提供する。
→施設近辺の地域清掃の機会を定期的に設け、施設内や駐車場の除草にも取り組んだ。

7. 防災訓練

- (1) 災害時の利用者の安全を図るため、防災計画に基づき月1回の防災訓練を行う。
→毎月生活介護と合同の避難訓練を実施した。
- (2) 大規模災害時の福祉避難所として、市、関係機関などと協力し機能を果たせる準備を整える。
→次年度以降も福祉避難所としての機能を果たせるよう関係機関と連携していく。
- (3) 事業継続計画（BCP）ガイドラインの見直しと法人全体での訓練の実施、研修の実施を行う。又、定期的に会議を開催する。
→BCP委員会を定期的に開催し、11月に法人全体の防災訓練を実施した。

8. 地域との交流

- (1) 挨拶、清掃活動等積極的に行い、日常的な関係を充実させる。
→定期的に地域清掃を行った。
- (2) 夏祭り、施設祭、ボランティアの受け入れ、地域イベントへの参加、近隣学校との交流等啓発活動を行う。
→夏祭りや施設祭、廻田町運動会で地域の方と交流が持て、啓発できた。

9. 実習生の受け入れ

対象	期間	人数
特別支援学校2年生	4日間	1名
特別支援学校1年生	1日間	4名
見学後の体験実習	1日間	1名
社会福祉士実習	16日間	1名

10. 父母会、親の会との連携

- (1) 支援の充実を図るため、家族の方との情報交換を密に行う。
→連絡ノート等で情報交換した。
- (2) 事業所の活動への理解を深めるため、月1回の保護者会を行う。
→8月(夏祭り)、10月(施設祭)、2月(面談期間)以外は実施し、毎回報告書を家庭に配布した。
- (3) 情報誌を発行し、活動状況を発信する。
→行事後を中心に施設便りを発行した。
- (4) 家族が参加できる行事を行い、交流の場とする。
→夏祭り、施設祭、バスハイクで交流が持てた。

11. 職員研修

研修名	実施日	主催	実施場所	参加者
新入社員自衛防衛教養	5月10日	東京消防庁	ひなたの道（ウェブ）	守久 裕美
労働災害再発防止講習会	5月15日	立川労働基準監督署	立川地方合同庁舎共用会議室1	押金 稔
メンタルヘルスクエア研修	6月27日	東京都医療福祉事業所	ひなたの道（ウェブ）	松井 天平
労働基準法等に関する研修	7月4日	東京都社会福祉協議会	ひなたの道（ウェブ）	松井 天平
社会福祉事業従事者人権研修Ⅰ	8月29日	東京都福祉保健局	ひなたの道（ウェブ）	守久 裕美
社会福祉事業従事者人権研修Ⅰ	9月7日	東京都福祉保健局	ひなたの道（ウェブ）	前森 直美
令和5年度東京都サービス管理責任者基礎研修	7月27～30日 8月22, 23日	東京都サービス管理責任者等研修事務局	ひなたの道及び東京都社会福祉保健医療研修センター	鈴木 脩太
令和5年度東京都サービス管理責任者基礎研修	8月1～8日 8月17, 18日	東京都サービス管理責任者等研修事務局	ひなたの道及び東京都社会福祉保健医療研修センター	加藤 譲太
福祉施設におけるBCP研修	10月18日	東京都ヘルプセンター	コロニー支援センター	鈴木 脩太
事業者向け食品表示法講習会	11月13日	東京都保健医療局	ルネこだいら大ホール	守久 裕美
令和5年度東京都サービス管理責任者実践研修	1月5～9日 1月24, 25日	東京都サービス管理責任者等研修事務局	ひなたの道及び国立オリンピック記念青少年総合センター	松井 天平
親亡き後の生活にむけて、できることを考える	3月12日	東村山市基幹相談支援センター	サンパルネコンベンションホール	守久 裕美

12. 会議

職員会議	月1回
B型・生活介護合同職員会議	月1回
評価会議	年2回
給食会議	月1回
ケース会議	月1ケース
研修報告会	研修終了後日

13. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、虐待防止、セクシャルハラスメント防止

- ① それぞれに規定を置き、利用者の権利を守り、満足の向上を図る。
- ② 苦情解決については、第三者委員を設置し対応にあたる。
- ③ セクシャルハラスメントについては、男女各1名の担当者を設け対応にあたる。

苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	押金 稔	042-394-3731
担当者	松井 天平	同上
第三者委員	端山 幸子	同上

セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	押金 稔	042-394-3731

担当者（男性）	鈴木 脩太	同上
担当者（女性）	広瀬 美雪	同上

虐待防止

	氏名	連絡先
責任者	押金 稔	042-394-3731
担当者	加藤 讓太	同上